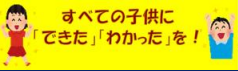


「自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成」を目指して



令和6年度 鳥取県教育の重点 ～各教科等の指導のポイント～

【重点目標】
自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成



鳥取県教育委員会



とっとり学びの部屋

鳥取県の現状と重点目標作成の意図

急激に変化する時代の中で、学校教育には、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています。

しかし、近年の全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査結果を見ると、「自分の考えを発表する機会では、考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した」ことに対する本県の児童生徒の肯定的回答の割合は低下傾向にあります。

「自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成」に向けて取り組むことは、「**思考力、判断力、表現力等**」の育成や「**主体的・対話的で深い学び**」の視点からの授業改善、ひいては、鳥取県教育振興基本計画の基本理念「自立して心豊かに、幸せな未来を創造する ふるさとととりの人づくり」にもつながるものと考えます。

とっとり「学びの部屋」からご覧いただけます。
Googleアカウント (@g.torikyo.ed.jp) でログインしてご覧ください。



内容

「自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成」に向けた各教科等の指導のポイント

【(例) 理科】

【重点目標】自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成
各教科等の指導のポイント

※QRコードを読み込む際は、他のQRコードを隠すと認識しやすくなります

「理科」

①「問い」を見だし、他者の考えや意見を受け入れながら探究的活動を充実させる単元の構想

- 既習事項や自然の事物・現象の提示、日常生活における経験などを基に、「問い」を見出すことができるようにする学習場面を設定する。
- 観察、実験などの結果を基に、予想や仮説の内容と照らし合わせて考察し、他者の考えや意見を受け入れながら、自分の考えを児童生徒自らが説明できる学習場面を設定する。
- 学習の連続性を意識し、習得した知識を、次の学習や生活などに生かすことができるようにする。

②観察、実験等を行い、多様な形式で整理・分析し、問題解決の力を養う言語活動の充実

- 観察、実験の結果を多様な形式で整理・分析し、考察する学習活動や科学的な言葉・概念を用いて考えたり説明したりする学習活動を充実させる。

- ・観察記録や実験データを図、表、グラフなどに表す
- ・ICT端末を活用し、画像や動画を活用する
- ・イメージを図で表す
- (例：飽和水溶液の様子、空気と水の圧縮 等)



「とっとり学びの部屋」
(Google サイト)
(小理科)

(中理科)

鳥取県学校教育のめざすもの
(理科)



☆掲載してあるQRコードから、「鳥取県学校教育のめざすもの(各教科等)」や過去の教育課程研究集会の動画視聴サイトを見ることができます。

☆具体的な手立てを2つに絞って掲載しています。

活用例

- ・教師が指導の重点事項を理解し、授業改善に向けて活用する。
- ・校内授業研究会等での授業参観の視点とする。
- ・管理職等が日々の授業を見る際の視点とする。 等

各教科等の授業づくりの際にご参照ください。

